

編
集
後
記

本別冊の趣旨については、「刊行のことば」にのべられているとおりですが、あらためてこの講座・シンポジウムに御協力いただいた諸先生に、編集部からお礼を申し上げます。もともと講義・報告の速記をこのように論文式に書き直すには、いろいろ差し障りもでてくるものです。それだけにこれらに目を通していただくといっても、たいへん厄介なことであったのではないかと恐縮している次第です。

もともと本別冊は6月初めには刊行したいと思っていましたが、御執筆いただいた先生方のいく人かが外遊されたり、あるいは御都合が悪かったりした理由とは別に、編集部の体勢が十分に整わなかったために、おくれてしまいました。このためにこの内容のいくつかは、すでに既知のものとなった情報もあるのではないかと申し訳なく思っています。本誌のおくれのお詫びは申すに及ばずですが、それだけ社会福祉・社会保障をめぐる情勢が日に日に新しく発展・変動していることの反映でもあろうかとも思います。

この問題に関連して社会保障に対する関心は驚くほど高まってきています。経済計画の方でも福祉中心の計画をとということが叫ばれていますが、いずれにせよ結構なことと思います。ただこれがスローガンだおれにならないことを祈りますが、同時に本研究所の役割も、いままで以上に重要なものになろうかと思っております。どうか今後とも御鞭達のほどお願い申し上げます。

(M. F.)

別冊 季刊 社会保障研究

昭和47年8月20日発行

編集兼発行所

社 会 保 障 研 究 所

東京都千代田区霞が関3丁目3番4号

社会事業会館内 電話 (580) 2511~2513

製 作 所

財団法人 東京大学出版会

東京都文京区本郷7丁目3番地の1 東大構内

電話 (811) 8814 振替東京 59964